

## 愛知県福祉サービス第三評価事業 評価結果

### ①第三者評価機関名

一般社団法人 福祉サービス評価センター
---------------------

### ②施設・事業所情報

名称： 愛厚半田の里	種別： 就労継続支援B型	
代表者氏名： 大竹 智康	定員（利用人数）： 20名	
所在地： 愛知県半田市鴉根町 3-40		
TEL： 0569-27-5049		
ホームページ： <a href="http://www.ai-kou.or.jp/">http://www.ai-kou.or.jp/</a>		
<b>【施設・事業所の概要】</b>		
開設年月日： 平成25年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 愛知県厚生事業団		
職員数	常勤職員： 5名	非常勤職員： 5名
専門職員	（専門職の名称） 名	
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）

### ③理念・基本方針

利用者一人ひとりの尊厳が保たれ、より豊かな日常生活を営めるよう、それぞれの想いに寄り添い、それぞれにふさわしい支援を行うことで、生活の質の向上と社会参加の促進を目指します。このためには相互に協力して支援の質を高め、利用者とともにある地域の福祉向上に継続して貢献していきます。

### ④施設・事業所の特徴的な取組

1. 半田の里は、周辺に美しく広がりがある緑地があり、商店などもあり生活圏域としても至便な場所にある。事業としては、生活介護・施設入所支援・短期入所・就労継続支援B型、日中一時支援事業、相談支援事業所及び共同生活援助を一体的に運営している。
2. 半田の里独自で「愛厚半田の里の日常生活支援にかかる理念」を定めている。「一人ひとりの人権を尊重し、日常生活における「食事」「入浴」「排泄」「整容」「衣類」等の支援に関し、利用者の意向に沿った支援とするため、日頃から積極的なコミュニケーションを図り、真に社会的自立につながるような支援に努めます。」としている。半田の里事業計画にも職員一同の決意として記載し、施設長以下全員で取り組んでいる。
3. 半田の里と同じ地域に3つの施設があり、さらには地域にはケアホームがある。それぞれが連携を取りつつ施設運営にあたっており「愛フルタウン」と称し地域との協調性が高い施設である。

### ⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	平成29年7月13日（契約日）～ 平成30年1月5日（評価決定日）  【平成29年10月6日（訪問調査日）】
受審回数 （前回の受審時期）	1回（平成26年度）

### ⑥ 総評

#### ◇特に評価の高い点

1. 職員に対する理念・基本方針の周知、外部・内部環境を把握した課題の設定、中長期・単年度の各事業計画の周知など、一連の流れが管理者のリーダーシップのもと組織的に行われている。

2. 利用者支援の基本である権利擁護への姿勢を明確にしてサービスが提供されており、利用者や家族への説明や同意を大切に、意見や苦情には迅速に対応している。また、最重要課題の個別支援計画の作成・実施・評価・見直しと記録の作成及び個人情報管理などを適切に行っている。

#### ◇改善を求められる点

1. 利用者が高齢化してきている。加齢に伴う生活機能の低下、意欲の低下は急激ではないものの、少しずつ不自由さや困難性が増えてくると思われる。高齢化による慢性的なものへの対応は、日常生活動作等の変化（低下）がみられるだけでなく医療依存度が高くなり、医療的ケアへの対応の体制が不十分となることが予測される。今からでも遅くないので速やかに検討されることを期待する。

2. 工賃水準の引き上げは、継続的に一定の作業量を確保することが必要となる。従事できる利用者が限られているため、賃金向上計画達成の困難性は理解できるが、職員やボランティアに頼らざるを得ない状況から抜け出すためには、積極的に職場開拓に努めていただきたい。

### ⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

就労継続支援B型事業には、年齢に関係なく意欲のある方に利用していただいておりますが、ご指摘のとおりご利用者の高齢化は顕著であり、高齢者でも安心安全に取り組める体制の構築は急務であると考えております。

また、そういった中でも工賃向上に向けた創意工夫や作業開拓にも、より一層力を入れていく所存です。

総評の指摘事項に併せ全ての評価結果を分析し、調査の中で頂いた数々の貴重な助言も無駄にせず、今後も職員一丸となってサービスの改善・向上に努めていきたいと思っております。

### ⑧ 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

### 第三者評価結果

※すべての評価細目（65項目）について、判断基準（a・b・cの三段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

#### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

##### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果	
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。			
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	障1	a・b・c
<コメント> ・理念、基本方針が、事業概要、機関紙、ホームページなどに記載されている。 ・事業概要は年度初めに職員全員に配付され、経営会議や職員会議などで説明し周知を図っている。 ・利用者懇談会（隔月開催）において説明しているが、わかりやすくするためフリガナを付けるなどの工夫を期待したい。			

##### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果	
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。			
I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	障2	a・b・c
<コメント> ・法人本部が主体となり、経営状況の把握・分析を行い、施設の年度の目標設定を行っている。 ・施設の課題は、就労支援会議、職員会議、障害者支援施設長会議などで検討したうえで、法人本部へ提案している。			
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	障3	a・b・c
<コメント> ・法人本部が各施設における年度の目標設定を確認しており、現状の把握と課題が共有化されている。 ・愛知県の指導のもと第2期工賃向上計画の見直しを行い、課題の分析と取り組む具体的方策を定めて支援に取り組んでいる。			

##### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果	
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	障4	a・b・c
<コメント> ・法人本部の愛知県厚生事業団経営計画において中・長期計画が策定され、各施設別に経営計画が割り当てられている。 ・施設長より、経営会議、職員会議において「第3期愛知県厚生事業団経営計画」並びに「半田の里経営方針及び事業計画」について説明している。			
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	障5	a・b・c
<コメント> ・愛厚半田の里事業計画は法人の中・長期計画を踏まえ、役職者で検討し経営会議、職員会議、支援班会議等で話し合ったうえで作成しており、年度初めに全職員に配付している。また、利用者懇談会・保護者会にて説明しているが、理解度については確認できていない。 ・就労支援事業としての計画は、年間の支援計画としてはあるが工賃向上計画と遊離している。計画の内容を検討する際には、工賃の目標など数値を念頭においたものが望ましい。			
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。			
I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	障6	a・b・c
<コメント> ・就労継続支援事業としての事業計画は、就労支援会議で軽作業・喫茶・農作業・朝市・資源回収別に実施状況を把握し、随時、評価・見直しを行っている。 ・就労支援の年度事業計画については、年度末の3か月前から就労支援会議においても、就労作業の実績・計画を検討し見直しを行っている。			

I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	障7	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・利用者には計画内容について説明するとともに作業場に掲示している。また、朝礼などで軽作業、喫茶、農作業、朝市、資源回収の部門別に繰り返し伝えている。 ・事業計画の内容説明は、保護者には保護者職員交流会・保護者総会で、また利用者には機会を捉え説明している。利用者が正確かつ確実に理解できているかは確認が難しい。		

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	障8	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・サービスの質の向上に向けては経営会議・職員会議を中心に、日常的活動については就労支援会議等において、日頃の支援サービスなどの検討・改善を行っている。		
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	障9	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・就労支援会議の中で、課題の整理として具体的な事項を掲げ、職員に周知しながらサービス向上に向けて努力している。 ・自己評価、第三者評価結果は就労支援会議などでフォローしている。 ・年度ごとに、時系列での傾向をとらえた取り組みを検討されたい。		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	障10	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・施設長は、日頃から事業所全体を把握する中で、経営会議、職員会議、就労支援会議などで職員に助言を与え指導している。 ・施設長は、朝礼を始め各種会議において自らの役割を発揮しており、支援サービスの提供責任者として十分に意を注いでいる。		
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	障11	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・施設長は、コンプライアンス委員会を定期的（隔月）に開催するとともに、遵守すべき法令や倫理を職員全体に周知している。 ・コンプライアンス委員会にて課題や問題を把握し、発生防止に努めている。 ・コンプライアンス違反について、自己チェックをパート職員を含む全職員を対象に実施（毎年6月）している。その結果を踏まえて職員と個別懇談を実施している。		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	障12	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・福祉サービスの質の向上に向けて、職員の研修機会は事業団本部のみならず施設としても数多く設定し、資質向上に向けて配慮をしている。 ・職員会議などの機会を利用し、サービス向上に向けて率先して議題の提供などを行っている。		
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	障13	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・施設長は、経費の節減や業務の運営において、サービスの質を維持しつつ効率的な支援の提供について指導力を発揮している。 ・効率的な施設運営について、法人理事の立場から施設定数の見直し、プレイルームの在り方、IT化など意見を具申している。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

第三者評価結果				
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。				
Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	障14	a	⑥	c
<コメント> ・今年度より、採用条件に無資格でも受験する機会を設け、採用後に資格取得できるよう配慮している。 ・正規職員の採用は事業団本部において計画的採用している。施設としては欠員にならないように努めている。				
Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	障15	a	⑥	c
<コメント> ・人事管理は、制度の確立と人材の育成が両輪であり事業団本部において検討している。 ・安心で安全で快適な職場環境こそが、サービスを担う職員にとって能力を十二分に発揮できると思われる。魅力的な制度の確立に期待したい。 ・人事評価は、毎年、個人面談行うとともに職級・評価項目一覧表に基づき実施している。				
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。				
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	障16	a	⑥	c
<コメント> ・総合職、一般職区分の創設、育休明けの職員への短時間勤務など配慮している。 ・パートにおいても、事業運営の状況を睨みつつ勤務時間の形態に幅を持たせている。 ・施設長が、年1回人事に関するヒアリングを行っているほか、計画的な有給休暇の取得を促進している。				
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。				
Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	障17	a	⑥	c
<コメント> ・本部主導の研修へ参加、愛知県知的障害者福祉協会の研修に参加するなど、積極的に育成に向けての取り組みをしている。 ・期待する職員像については、職級・評価項目一覧表に明記されている。 ・施設長が年1回人事に関するヒアリングを行うなかで、目標の樹立と達成に向けた取り組みを行っている。				
Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	障18	a	⑥	c
<コメント> ・法人本部の研修計画に基づく研修のほかに、施設としても参加する意義を見出した研修に参加している。 ・愛知県知的障害者福祉協会が開催する研修やセミナーに参加している。				
Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	障19	a	⑥	c
<コメント> ・職員として必要な知識習得のため、年間の職場研修計画により受講している。 ・パート職員も含めて年に1回以上研修に参加させており、参加状況について自己評価チェック表にて確認できる仕組みができています。				
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。				
Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	障20	a	⑥	c
<コメント> ・法人における基本的な「実習生受け入れマニュアル」による受け入れるべき環境は整っているが実績としてはない。 ・今後の検討課題として「半田の里」全体で実習生を受け入れるときのスタンスとして、就労支援事業も加えるべき検討されたい。				

## II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	障21	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> ・法人のホームページ、機関紙「清明」などに事業運営、事業計画、事業報告、苦情への対応などが掲載されている。 ・「半田の里だより」は年2回発行されているが、ホームページの「半田の里だより」の掲載が滞っているので更新されたい。		
II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	障22	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> ・社会福祉法の改正により本部の内部管理体制が強化され、経営ガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化が求められることとなった。 ・当事業団は会計監査人による監査が義務付けられ、平成29年6月以降に会計監査人の監査を受けることとなっている。		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	障23	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> ・第2日曜日に開催している朝市（年7回）や施設内の喫茶店は、地域の方々にも利用していただき、チラシやのぼりで利用を呼びかけている。 ・地域のイベントである「半田特別支援学校夏祭り」「半田ふれあい産業まつり」に出店し、地域との交流を図っている。		
II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	障24	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> ・ボランティアの受け入れのマニュアルなど体制作りはできている。ただし、朝市・農作業などのボランティア受入れの必要性を感じている。 ・新たなボランティアグループについて、受け入れの方法など取組みについて検討中である。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	障25	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> ・半田市自立支援協議会の部会など、地域の関係機関との連携を図っている。 ・利用者の希望により、他の就労支援事業所との重複利用を行うなど利便を図っている。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	障26	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> ・地域との関わりでは、朝市・喫茶店を廉価で利用していただくなどの取り組みを行っている。 ・地域からの要請により、グラウンド・集会室の地域への貸し出しを行っている。 ・半田市との協定により、福祉避難所に指定されている。		
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	障27	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> ・就労支援事業の一環として新聞や雑誌、段ボールなどの回収を行っており、朝市・喫茶においても地元・地域住民との交流は図られている。 ・障害者福祉施設として、専門的な支援・協力や地域住民における福祉的活動を支援する取り組みについて検討されたい。		

**評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

**Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス**

		第三者評価結果	
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。			
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	障28	a	ⓑ
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者を尊重する姿勢は福祉の精神の基に当たる。法人としての経営方針、職員倫理要領、職員行動規範に明文化されており、各種会議の中で職員に周知している。また、利用者尊重の徹底と支援の充実を図るうえで、職員の共通理解を深めるため、権利擁護等に関する学習や研修などに取り組んでいる。</li> <li>・半田市自立支援協議会の地域連携・ひとり暮らし部会において、ガイドブックの作成に取り組んでいる。</li> </ul>			
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	障29	a	ⓑ
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人情報の取り扱いも個人情報保護規程の定めにより適切に行われている。</li> <li>・研修会を開き人権について全職員が考えを見直す機会としている。研修で学んだことを持ち帰って周知することが大切である。</li> <li>・パソコンでのファイリングと紙面での管理と適宜分けて管理されている。</li> <li>・プライバシーを守るために更衣室などの設備面での配慮と工夫がある。</li> </ul>			
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。			
Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	障30	a	ⓑ
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレット等を活用して、わかりやすいかたちで知らせている。</li> <li>・自己決定が難しい利用者にとってもサービスの選択がしやすいように、写真、図、絵等の使用して誰にでもわかるようにする努力を続けることを希望する。</li> </ul>			
Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	障31	a	ⓑ
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく丁寧に説明することは、サービスを選択するための指標であるが必ずしも十分ではない。</li> <li>・利用者等にわかりやすく丁寧に説明することは、個々の理解力の問題もあることから重要説明事項のダイジェスト版を利用するなど『理解を求める努力』を形にすることが望まれる。</li> <li>・成年後見制度の利用は、対象となる利用者がいないため確認できなかった。</li> </ul>			
Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	障32	ⓐ	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入退所については、経営会議（トップ会議）にて検討しており、本人や家族との相談も丁寧にされている。</li> <li>・必要に応じて、関係機関や他の事業所と連携を取り協議を行うなど、継続性に配慮している。</li> </ul>			
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。			
Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	障33	a	ⓑ
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が満足するという前提には、利用者サイドに立って意見・要望を聴こうとする職員の姿勢がある。</li> <li>・近々の具体的な例を挙げると、昼食の弁当業者の変更がある。</li> </ul>			
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。			
Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	障34	a	ⓑ
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情受付窓口を玄関、作業場に掲示し周知している。障害の特性から機能しているとは言いがたい面もある。</li> <li>・表出の難しい利用者にとって、通常の方法では周知・機能することは困難であるからこそ、日頃のコミュニケーションが重要であり、常に職員の姿勢が問われる。</li> </ul>			
Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	障35	a	ⓑ
<p>&lt;コメント&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相談や意見に関する取り組みは十分とはいえない。事業所として利用者や家族に周知されている必要があるので前向きに取り組まれない。</li> </ul>			

Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	障36	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・施設における対応マニュアルはあるが、所謂「苦情処理」に相当するような事例はなかった。 ・個々の問題やトラブルについては、その都度職員に伝えとともに迅速に対応している。		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	障37	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・事故防止対策委員会（利用者サービス改善委員会）が毎月第4木曜日に開かれている。 ・取り組み体制としてはリスクマネージャーを置き、収集、要因分析、改善策などについて取り組んでいる。 ・法人本部主導の利用者サービスリスク対策実施要項により、適切な対応が行われている。		
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	障38	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・利用者の健康管理は徹底しており、インフルエンザや感染力の強い胃腸風邪等の発症があった場合は作業を中止している。 ・朝の検温で発熱等があれば隔離するなど、適切な処置をとっている。季節によって出勤時の検温、マスクの着用、喉スプレーの実施等を徹底し、マスクは昼食後交換するなどの配慮をしている。		
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。	障39	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・防災訓練は愛フルタウン総合防災訓練として毎年9月、その他に施設全体で年5回実施しており、就労支援の対象者は夜間想定以外の訓練全てに参加している。 ・非常災害等の発生による不測の事態に備え、半田の里全体で利用者と職員の1週間分の食料と水を備蓄している。		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	障40	㉔ ・ b ・ c
<コメント> ・作業別に写真やイラストを使った手順書やマニュアルが作成されているが、不十分な利用者には職員がついて指導に当たっている。		
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	障41	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・担当職員を中心に、個別支援計画によって状況を踏まえ、随時見直しが行われている。		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別支援計画を適切に策定している。	障42	㉔ ・ b ・ c
<コメント> ・適切なアセスメントにこそ利用者支援につながるすべてがあり、丁寧に要望や意見を取り入れている。 ・個別支援計画は入所までの経緯を把握することが重要であり、各部門の担当の意見を集約し定められた手順で策定されている。		
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に個別支援計画の評価・見直しを行っている。	障43	㉔ ・ b ・ c
<コメント> ・モニタリングは3カ月ごと実施している。6ヶ月後には評価と見直しを実施している。 ・障害者にとっては目を見張る変化は予測し難く、現状を維持することが難しくまた大切である。評価・見直しを形式的に済ませることのないよう心がけているが、今後も充実に向けて努力を続けていきたい。		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	障44	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・毎日、行われたサービスの実施状況は業務日誌に記録し、紙ベースで保存している。 ・個別支援計画に沿ったサービスの実施状況、利用者の状態や日々の情報は適切に記録されている。 ・情報は的確に整理されており共有化されているが、利用期間が長期に亘る可能性があることから個人別にファイリングするのが望ましいので、検討されたい。		

Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	障45	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・ 個人情報の管理は適切に行われているが、情報の開示等についての取り組みは確認できなかった。 ・ 利用者に関する記録（通院記録・体調不良等の記録）の管理体制は出来ており、職員がいつでも閲覧できるように決められた場所で保管している。		

#### A-1 利用者の尊重と権利擁護

		第三者評価結果
A-1-(1) 自己決定の尊重		
A-1-(1)-① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	障46	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・ 利用者の自己決定を尊重した個別支援計画とするために、一人ひとりとの日常的な会話を大切にしている。 ・ 個人の希望により当事業所の作業に加えて、弁当屋に就労する日を設けたり、工場での作業に出向いたケースがある。		

#### A-1-(2) 権利侵害の防止等

A-1-(2)-① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	障47	㉔ ・ ・ c
<コメント> ・ 利用者の権利侵害の防止等に関する取り組みは、人権委員会が偶数月第3木曜日に開催されている。 ・ 権利侵害の事案は見られなかった。職員として必要な権利擁護・侵害を防ぐ意識付けを持ち維持されることを望む。		

#### A-2 生活支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 支援の基本		
A-2-(1)-① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	障48	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・ 一般就労への移行を第一目標としている。それに向けての身だしなみやマナーの習得に向けた支援をしている。 ・ 外来者に積極的な挨拶をする姿勢や食後の歯磨きなど、自主的に行う利用者の姿があった。		
A-2-(1)-② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	障49	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・ 言葉によるコミュニケーションだけでなく、状況や対象によってはイラストなどを使った視覚支援や絵カードなども利用している。		

A-2-(1)-③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	障50	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・ 日常の支援の中でいつでも相談できる環境になっており、個別支援計画見直しの際に参考としている。 ・ 利用者の意志に基づき、相談支援事業所との連携により他事業所での就労体験を実施するなど努力をしている。		
A-2-(1)-④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	障51	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・ 個別支援計画の作成、記録、評価や見直しについては実施されており、日中活動等の利用者支援を行っている。 ・ 利用者の希望に応じた支援確保のために、日中の活動や過ごし方が選択できるよう情報提供が必要である。		
A-2-(1)-⑤ 利用者の障害の状況に応じた適切な支援を行っている。	障52	a ・ ㉔ ・ c
<コメント> ・ 就労支援会議でアセスメントに基づいた個別支援計画が立てられており、必要に応じ専門職の助言を得て見直しを行っている。 ・ 車いすの利用、転倒防止の見守りと付添など、個別の状況に合わせた支援をしている。		

A-2-(2) 日常的な生活支援			
	A-2-(2)-① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	障53	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・個別支援計画による支援のほかに、個々の能力に合わせ休憩時間を設けたり、食事内容によって鉄を入れて嚙下しやすいよう丁寧な支援をしている。 ・就労に向けて必要なマナーの習得を個別支援計画に盛り込んでいる。			
A-2-(3) 生活環境			
	A-2-(3)-① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	障54	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・トイレについては開設から年数を経ていること、施設入所者も利用することなどにより改修が必要である。特に作業室横のトイレについては改修が迫られている。 ・利用者の安全を守るための施設は徹底しており、安全に配慮された生活環境と言える。			
A-2-(4) 機能訓練・生活訓練			
	A-2-(4)-① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	障55	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・機能訓練や生活訓練が必要と思われる場合は、専門職と関係職員による連携のもと、利用者一人ひとりの能力に応じたプログラム・メニューによる個別支援計画により支援している。			
A-2-(5) 健康管理・医療的な支援			
	A-2-(5)-① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	障56	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・怪我や体調不良があれば半田の里に常駐している看護師に連絡し対応している。 ・毎朝、検温を行っており記録している。利用者個々のカルテが半田の里にあり情報は共有している。 ・通院が必要な人は受診を優先している。地域医療機関との連携ができています。			
	A-2-(5)-② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	障57	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・医療的な支援に関しては、半田の里の看護師の指示の下、指導や助言を受けながら支援している。 ・情報の共有という点では、体調に関する訴え、受診したときの対応などについて把握できている。 ・薬を服用している利用者について薬を飲む動作確認はしているが、与薬依頼票等を参考としたチェック表を作るなど誤薬事故の防止に努められたい。			
A-2-(6) 社会参加、学習支援			
	A-2-(6)-① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	障58	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・他事業所の利用や就職に向けての学習や取り組み、就労体験に参加している。 ・利用者としては、日常生活から離れた場所に行くこと、地域に出る経験をすることが喜びであり学習となることから、取り組みの見直しによるバリエーションを増やす工夫を期待する。			
A-2-(7) 地域生活への移行と地域生活の支援			
	A-2-(7)-① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	障59	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・利用者の希望と意向を尊重し、個々の好み・興味等を聴き把握したうえで丁寧に支援している。 ・利用者はケアホームの入所者が多く地域住民との交流も行われているが、より地域社会とつながる取り組みを期待する。			
A-2-(8) 家族等との連携・交流と家族支援			
	A-2-(8)-① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	障60	a ・ ㉞ ・ c
<コメント> ・資源回収作業時や朝市の場において、入所支援利用者の保護者・利用者・地域の方々との交流を促している。 ・各種の行事に参加する家族は減少しつつあり、家族との交流を図る手立てを施設として検討されたい。 ・家族への情報提供や相互理解は、相談支援を進める中で必要に応じ行われている。			

A-3 発達支援

		第三者評価結果	
A-3-(1) 発達支援			
A-3-(1)-①	子どもの障害の状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。	障61	a ・ b ・ c
<コメント> 非該当			

A-4 就労支援

		第三者評価結果	
A-4-(1) 就労支援			
A-4-(1)-①	利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。	障62	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> ・利用者の約半数は60歳以上であるが、年齢に関係なく意欲のある方に参加していただいている。 ・一人ひとりの働く力・取組みに見合った工賃の支給があり、工賃に関する苦情は見られず良好な信頼関係にあることは評価できる。 ・障害者の高齢化による様々な問題が時を待たずして迫っており、働く意欲の維持等の支援のあり方について検討していくことが急務である。			
A-4-(1)-②	利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。	障63	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> ・利用者の希望に沿った作業に参加していただいております。一人ひとりの働く力に応じた支援を展開している。 ・就労の機会を通し、それぞれの持っている能力の維持・向上のためには、適応可能な作業の確保が課題である。 ・ネットワークを利用した支援を行うことが重要であり、他の事業所や相談支援事業所との情報交換を利用して受注を増やす努力を期待する。			
A-4-(1)-③	職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。	障64	a ・ ⑥ ・ c
<コメント> ・半田市と連携して作業の開拓に取り組んでいるが、兼務となっても職場開拓職員を配置し積極的に支援に取り組まれない。			